

神戸市発行の「神戸市 SDGs 債」の取得について

こくみん共済 coop 〈全労済〉（全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事理事長：廣田 政巳）は、2021年9月10日、神戸市が発行する「神戸市 SDGs 債」を取得しました。

同市が第5次神戸市基本計画などを踏まえ策定した5か年の実施計画「神戸2025ビジョン」は、国連開発計画（UNDP）が策定した「SDGs インパクト基準」（事業向け）草案の基本的な考え方にもとづき、株式会社格付投資情報センター（R&I）よりSDGsの達成に資する旨の評価を取得しています。

本債券により調達された資金は、同ビジョンの実現に向けた事業等に活用される予定です。

当会では、「New-Zetwork（2018年度～2021年度中期経営政策）」において、「持続可能な社会づくり・セーフティネットづくり」に取り組むことを掲げています。その取り組みの一つとして、資産運用方針にもとづきESG運用（環境・社会・企業統治に配慮している発行体を重視・選別して行う運用）を実施しており、SDGsの達成に貢献する本債券の取得を決定いたしました。

当会は、理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現にむけて、今後もESG運用を含めた持続可能な社会づくり・セーフティネットづくりに取り組んでまいります。

<概要>

名 称	神戸市令和3年度第6回公募公債(30年)
発 行 体	神戸市
発行体格付	AA+ (R&I)
発行総額	100億円
償還期間	30年

<こくみん共済 coop>

正式名称：全国労働者共済生活協同組合連合会。

たすけあいの生協として1957年9月に誕生。「共済」とは「みんなでたすけあうことで、誰かの万一に備える」という仕組みです。少子高齢社会や大規模災害の発生など、私たちを取り巻く環境が大きく変化しているなか、こくみん共済 coop は、「たすけあい」の考え方や仕組みを通じて「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にむけ、皆さまと共に歩み続けます。

◆こくみん共済 coop たすけあいの輪のあゆみ：<https://www.zenrosai.coop/web/ayumi/>



たすけあいの輪をむすぶ

<リリースに関する問い合わせ先> こくみん共済 coop ブランド戦略部
〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10 電話：03-3299-4232 / Email: koho@zenrosai.coop

<ご掲載・ご取材に関するお問い合わせ先>
株式会社ユース・プランニング センター 担当：大竹、田邊、安東
Tel: 03-3406-3411 / Fax: 03-3499-0958
大竹 携帯 080-8846-7806 / t-otake@ypcpr.com
田邊 携帯 090-7900-4611 / k-tanabe@ypcpr.com

<神戸市 SDGs 債が支えるプロジェクト事例>

神戸医療産業都市の推進

神戸医療産業都市は、阪神・淡路大震災で「いのちの大切さ」を改めて知った神戸市が「市民福祉の向上」、「神戸経済の活性化」、「国際社会への貢献」を目的として開始したプロジェクトです。さらなる成果の創出をめざし、医療機器開発エコシステムの構築を図ります。



- ・ 360 を超える研究機関・医療機関・医療関連企業が集積する、国内最大級のバイオメディカルクラスターを形成
- ・ 中核支援機関である「神戸医療産業都市推進機構」によるクラスター内の連携・融合促進
- ・ 世界最先端の再生医療、免疫疾患を対象とした新たな治療法、国内初の医療機器などの実用化に取り組む
- ・ ライフサイエンス分野のベンチャーエコシステム構築に向けた支援事業を展開

グリーン施策

地球温暖化に伴う気候変動の影響が顕在化している中、自然と太陽のめぐみを再認識し、再生可能エネルギーや先駆的な環境技術及び水素エネルギーの利活用などに取り組みます。

■水素サプライチェーン構築実証実験（液化水素の輸送・荷揚・貯蔵）

- ・ 世界初の液化水素運搬船で液化水素供給システムを構築
- ・ 海外の褐炭（未利用資源）から生成した液化水素を荷揚・貯蔵する実証実験の実施に向けた施設整備（神戸空港島北東部）
- ・ 技術研究組合 CO2 フリー水素サプライチェーン推進機構（略称「HySTRA」、川崎重工業・岩谷産業・シェルジャパン・電源開発・丸紅・JXTG エネルギー）と連携した、先駆的な取り組み

■水素エネルギー利用システム開発実証事業（水素発電）

- ・ 水素専燃、水素と天然ガス混燃が可能な発電所（1MW 級）を整備（2017 年 12 月）
- ・ 世界初の水素燃料 100%による電気・熱供給を達成（2018 年 4 月）
 <供給先>国際展示場・中央市民病院等
- ・ 燃焼時の CO2 を大幅に削減

■こうべバイオガス（下水消化ガスの活用）

- ・ 下水処理過程で発生する消化ガスを高度に精製し、メタン純度を高めた「こうべバイオガス」として有効利用
- ・ 都市ガス供給（約 3 千世帯）、自動車燃料供給（約 1 万台）、消化ガス発電などに活用



※上記プロジェクトは、事例のご紹介のみを目的としており、今回の神戸市 SDGs 債の資金の活用を上記プロジェクト、またはその分野に限定するものではありません。

◆詳細は下記 URL よりご覧ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/8035/20201225.pdf>